

# 日本油脂(株)武豊工場 湿綿薬置場 で発生した火災に関するご報告

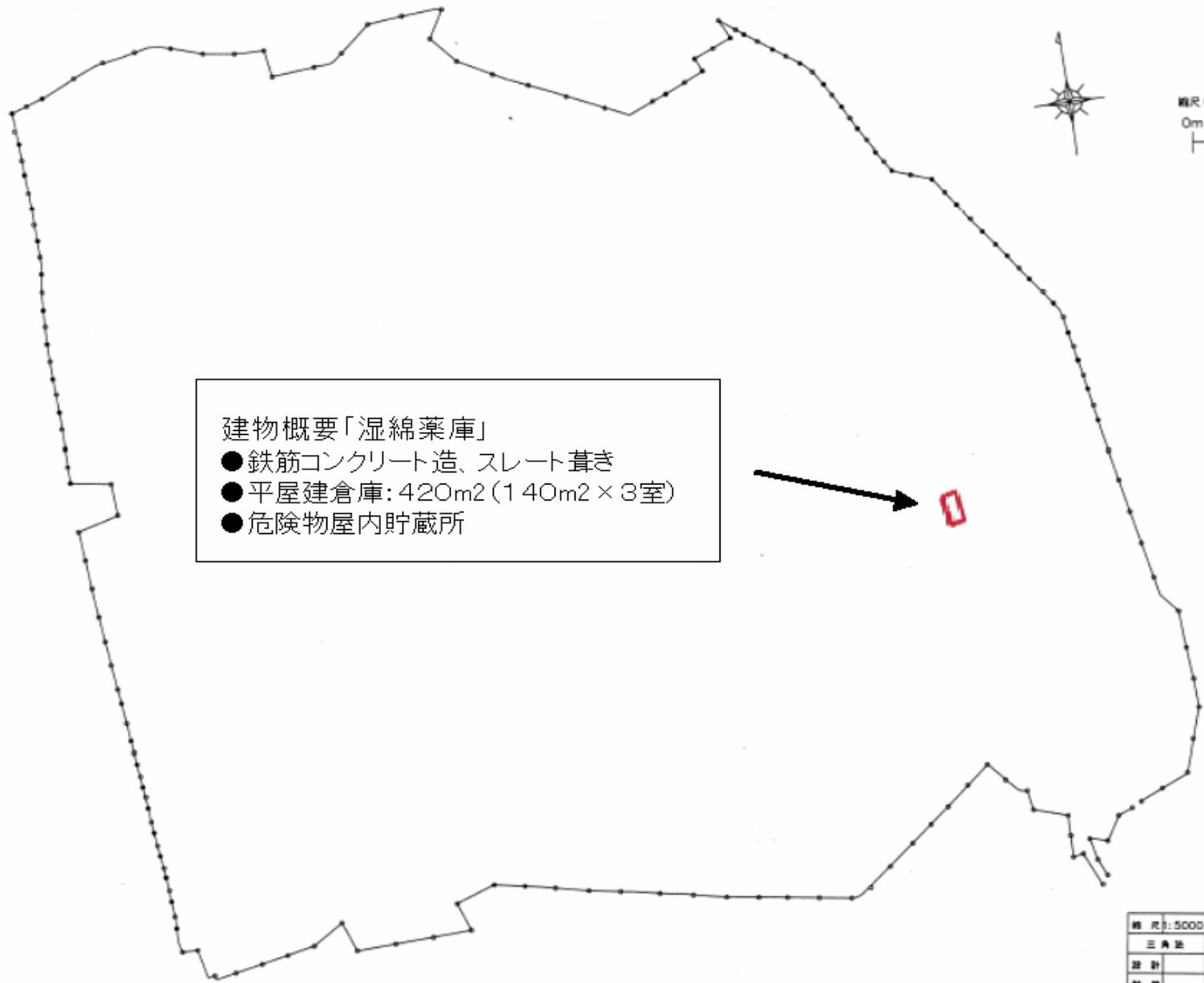
2005年8月15日

日本油脂(株) 愛知事業所 武豊工場

# ご報告内容

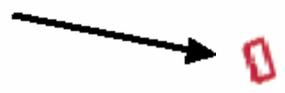
1. 火災の概要
2. 管理体制
3. 推定原因
4. 再発防止に向けて

# 1. 火災の概要



縮尺(1/5000)  
0m 100m

建物概要「湿綿薬庫」  
 ●鉄筋コンクリート造、スレート葺き  
 ●平屋建倉庫:420m<sup>2</sup>(140m<sup>2</sup>×3室)  
 ●危険物屋内貯蔵所



縮尺:5000	図面名称	武豊工場工場 配置図	
三角法	作成日		図番
設計			
製図			
校正			
訂正			
日付			
記号			
本番	日本油断(株)愛知事業所		

## 2. 管理体制

# レスポンシブル・ケアに関わる経営方針

## 1. レスポンシブル・ケアに関わる基本認識

我々化学企業が継続して事業活動を行なうには、その活動や生産物が社会において有用であるとともに、社会環境や自然環境とも十分に調和したものでなければならない。

社会環境との調和については、自国のみならず、世界の国々から、近辺の地域から、更には、直接生産や使用に関わる従業員・顧客および最終の消費者から、製品の開発・製造・流通・使用を経て、最終の廃棄に至る全てのプロセスでの「安全と健康の確保」が強く要請されている。

また、自然環境との調和についても、地球規模の環境諸問題への対応をはじめ、身近な地域環境の保全に至るまで、自然に対する広範な調和が求められており、自然の営みを損なうことのない、いわゆる「環境にやさしい」製品や技術の創出とこれへの転換が一日も早く望まれているのである。

このように化学企業が社会の重要な一員として共生するには、全ての事業活動が、社会環境や自然環境と調和が図られているとして、社会から認識・評価され受容されるものでなければならないし、その為には、事業活動全般にわたり、レスポンシブル・ケア（責任ある配慮）を及ぼすことが極めて重要となっている。

我々は、このような認識のもとに自らを律するため、「レスポンシブル・ケアに関わる経営方針」と「レスポンシブル・ケア指針」を定めて遵守し、社会から一層信頼される企業たるべく努めるものである。

## 2. レスポンシブル・ケアに関わる経営方針

当社は、顧客・地域住民・従業員に対する安全と健康の確保のため、また、環境の保全ならびに生態系および資源の保護のために、レスポンシブル・ケア（責任ある配慮）を持って全ての事業活動を行なうことを環境安全、製品安全、設備安全、物流安全および労働安全の5つの安全に関わる経営方針とする。

当社および関係会社の全ての役員ならびに従業員は、

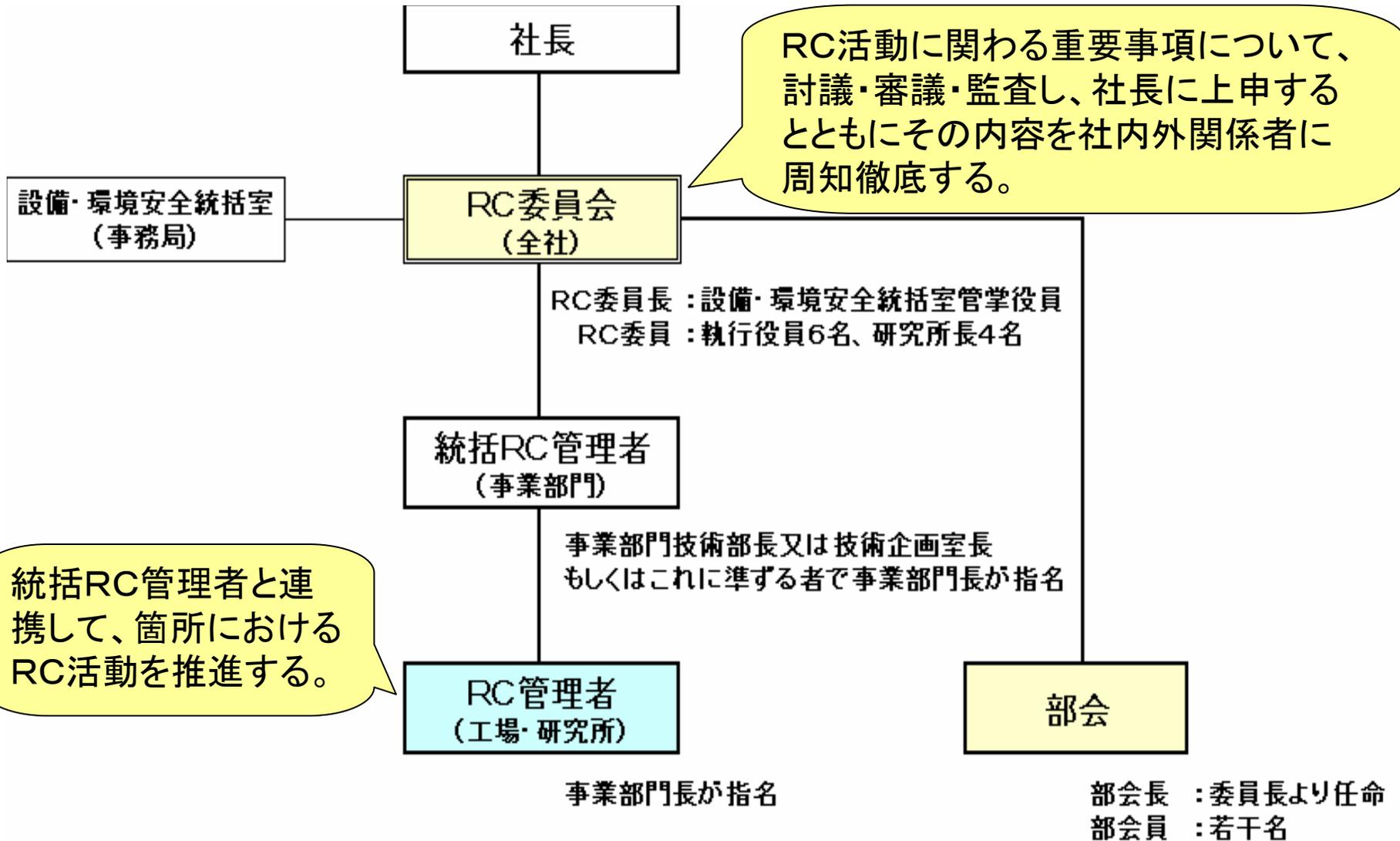
- (1) 社会環境や自然環境に対する十分な安全配慮を持ち、
- (2) 適切な自主管理と緊密な業務連携のもとに、
- (3) 信頼性の高い安全性評価と関連法規の遵守により、
- (4) 製品の開発から製造・流通・使用を経て、最終の廃棄に至るまでの全てのプロセスにおける、環境・安全および健康に及ぼす影響を最小化するよう努めなければならない。

# レスポンスブル・ケアとは



- 化学物質を製造、又は取り扱う事業者が、**自己決定・自己責任**の原則に基づいて、化学物質の開発から製造・流通・使用・最終消費を経て廃棄に至る**全ライフサイクルにわたって、環境・安全・健康を確保**することを経営方針において**公約**しその対策を実行し、改善を図って行く**自主管理活動**です。

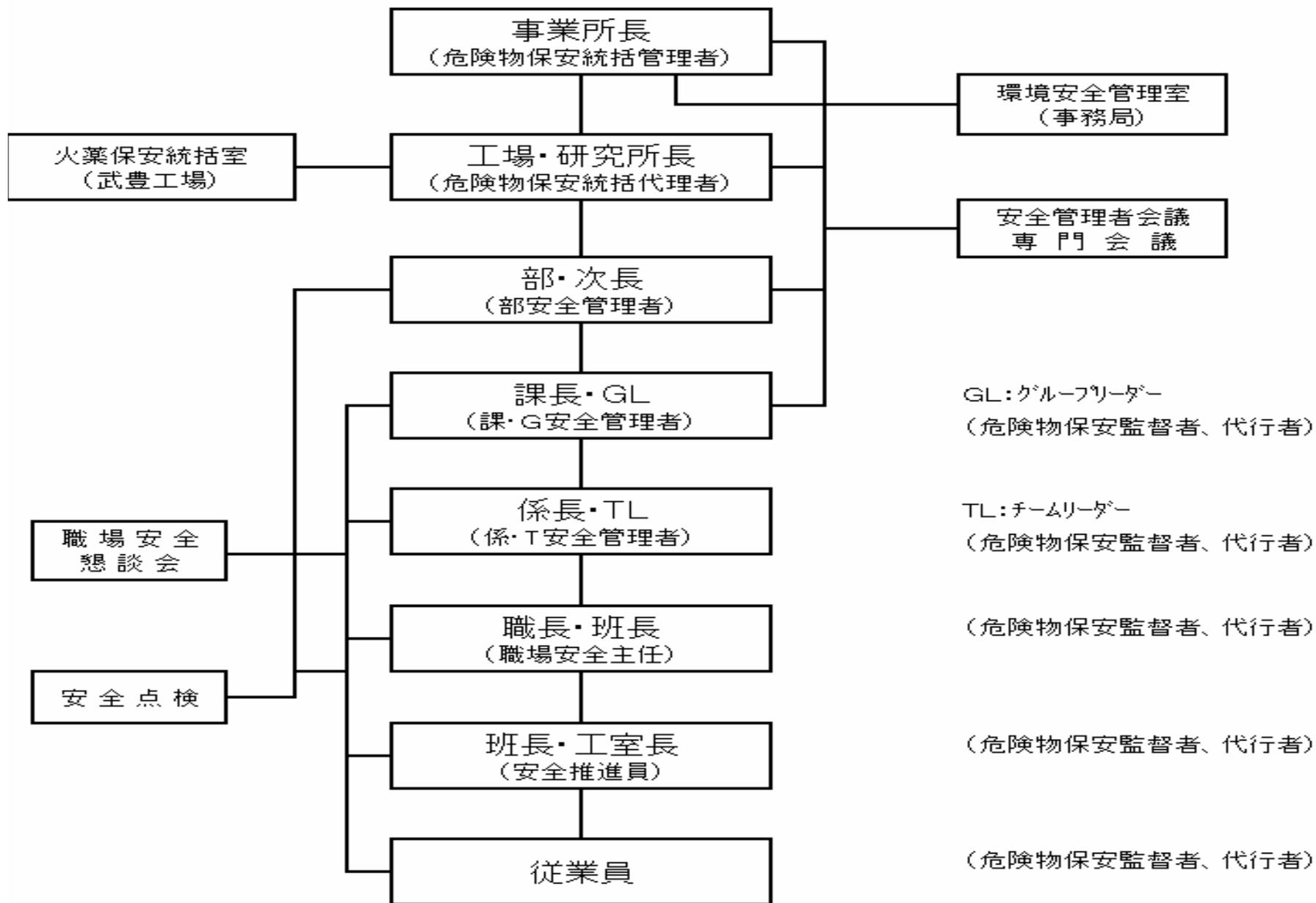
# 日本油脂(株)レスポンス・ツバル・ケアの推進体制



5つの安全

- 環境安全
- 製品安全
- 設備安全
- 物流安全
- 労働安全

# 愛知事業所の危険物保安管理体制



# 3. 推定原因

# 保管状況(発火源)

- ① 湿綿薬(綿薬・水)
  - ビニル袋に封入後、金属ドラムに収函
- ② 駆水綿(綿薬・アルコール)
  - 駆水缶に水を添加して直接収函
- ③ 回収アルコール(水を含む)
  - ケミドラムに直接収函

# 発火原因(推定)

## ① 湿綿薬の発火

- ・気密性は高く、発火源となる可能性は低い。

## ② 駆水綿の発火

- ・保管容器の気密性のばらつきにより、表面の乾燥による残酸の濃縮による分解速度の上昇
- ・空気/水分の影響による分解温度の低下

## ③ 回収アルコール

- ・アルコールの蒸気爆発については、当該保管室は静電気が発生し得る構造でないことから、可能性は低い。



駆水缶縁部の変形



駆水缶縁部の割れ

駆水缶 内径  $\phi$ 39cm × 高さ73cm

## 参考2



湿綿薬ドラム  
内径  $\phi$ 56cm × 高さ87cm

# 発火原因（推定）まとめ

## 【発火源】

- 駆水缶入り駆水綿

## 【発火原因】

- 気密性が高くない保管容器において、空気の流入による分解温度の低下
- さらには、表面の乾燥に伴う残酸の濃縮による分解速度の上昇

## 4. 再発防止に向けて

# 管理の強化

## 1. 綿薬の管理強化

- 火薬類に準ずる管理体制の構築

## 2. 保管基準の強化

- 管理項目の追加: 定期的な水分測定及び安定度試験の実施等
- 保管容器の気密性の確保

## 3. 作業マニュアルの見直し

## 4. その他危険物に対する水平展開

# おわりに

今回の火災事故に際し、皆様方に多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたして誠に申し訳ございませんでした。心からお詫び申し上げます。

先ほどご説明申し上げました対策を確実に実施し、皆様方の信頼を得るべく従業員一同再発防止に努めてまいります。